

(様式1)

平成25年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 003	提案機関名 農業振興課
<b>要望問題名</b> 実需者ニーズに合わせた戦略作物(小麦、六条大麦、大豆)の品質及び収量向上技術の開発と適品種の選定。	
<b>要望問題の内容</b> 【 背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等) 】 神奈川県においては、戸別所得補償制度の対象となる地元産の小麦、六条大麦、大豆の実需の増加が顕著である。これらの作物については、品質向上による加算(品質加算)と増収に伴う加算(数量加算)が適用されることから、実需者が求める品質レベルを維持しながら、収量の増加させることのできる栽培技術を開発するとともに、それぞれの品目について適品種を選定していただきたい。	
<b>解決希望年限</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 1年以内 <input type="checkbox"/> 2～3年以内 <input type="checkbox"/> 4～5年以内 <input type="checkbox"/> 5～10年以内
<b>対応を希望する研究機関名</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 農業技術センター <input type="checkbox"/> 畜産技術所 <input type="checkbox"/> 水産技術センター <input type="checkbox"/> 自然環境保全センター
<b>備考</b>	

ここから下の欄は、回答者が記入してください。

<b>回答機関名</b>	農業技術センター	<b>担当部所</b>	野菜作物研究部
<b>対応区分</b>	実施 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 継続検討 <input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 調査指導対応 <input type="checkbox"/> 現地対応 <input type="checkbox"/> 実施不可		
<b>試験研究課題名</b> ( 、 、 の場合) 地産地消を加速する品種の選定 奨励品種決定調査事業 地産地消を推進する安定生産技術の確立 普通作物における安定生産技術の開発			
<b>対応の内容等</b> 大豆については、神奈川県の内産種である「津久井在来」の増収にむけた試験を行っています。大豆の密植栽培では多収を示す報告(十勝農試、1998、古畑昌巳ら 2008)があり、「津久井在来」の増収を期待し、栽植密度と収量の関係を明らかにする試験を行っています。また、「津久井在来」の慣行栽培では最下着莢位高が低く機械収穫での損失が生じます。大豆の密植栽培による最下着莢位高の上昇が報告されており、「津久井在来」の機械収穫適性を向上するため、栽植密度と最下着莢位高の関係を明らかにする試験を行っています。 麦類については、「奨励品種決定調査事業」の中で適品種の選定を進め、併せて「普通作物における安定生産技術の開発」の中で新導入品種の作型の検討を進めているところです。小麦については、農林61号に変わる麺用品種及びパン用品種の選定、六条大麦については、カシマムギに変わる麦茶用品種の選定を行っています。			
<b>解決予定年限</b>	1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> 2～3年以内 <input type="checkbox"/> 4～5年以内 <input type="checkbox"/> 5～10年以内		
<b>備考</b>			